

県立新発田病院だより

第51号 2014年11月発行

新潟県立新発田病院

〒957-8588 新発田市本町 1-2-8
TEL.0254-22-3121 FAX.0254-26-3874
<http://www.sbthp.jp/>

【当院の基本理念】

1. 県北の急性期高度医療を担い、質の高い医療を提供します。
2. 患者さんに優しく安全で信頼される病院を目指します。
3. 保健福祉・医療機関と連携して地域の基幹病院としての役割を担います。
4. 教育・研修を積極的に行ない、医療の未来に貢献できる人材を育てます。

目次

- P 1. 巻頭言
P 2. 医療情報：当院の地域連携センターの現状とこれから、ミニクイズ
P 3. 病院トピックス：冬のスキンケア 乾燥対策の工夫！
P 4. 患者さんの声、患者さんの権利、編集後記

地域包括ケア病棟の新設について



院長 堂前 洋一郎

日頃、新発田病院の運営につきましてはご協力いただきましてありがとうございます。

今回は、この紙上を借りて、病院の今後の方向性、あり方をお示ししたいと思います。団塊の世代が75歳の後期高齢者になる2025年は高齢化率が上がって、医療費、介護費用が高騰するといわれています。政府は高齢化社会に向かって、将来の医療の方向性を決めました。今までどこでも好きな時に医療を受けられる時代から、適切な時に、適切な場所、最小の費用で医療を受ける時代に変化すべきと提言されました。これは大きな病院では急性期医療を担い、それが過ぎてリハビリなどは次の回復期の医療機関へ、最後は自分の住んでいる地域へ診療所の先生をかかりつけ医として地域のなかで生活すべきとの意味です。また、この10月から病院や、入院施設を持っている診療所がどの機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）を持っているか報告する病床機能報告制度が始まりました。この報告をもとにして、二次医療圏、すなわち新発田地区の将来あるべき医療体制を決めようというものです。皆様にも医療に対する考え方を少し変更していただかなくてはなりません。

新発田地区には急性期を担える大きな総合病院が新発田病院に限られています。しかも、回復期といえる次の病院も不足しています。そうするともう急性期を過ぎた患者さんが行くところがなく、急性期でない（政府が言っている急性期であって患者さんが考える急性期とはずれがある。）患者さんが当院にたまってしまいます。すると、新しく手術などしなければならぬ急性期の患者さんが入院できないという事態となってしまいます。これらを解決するため11月から地域包括ケア病棟を新設することになりました。ここでは急性期を過ぎた患者さんを専門的に指導し、退院に向けた準備を進め、自宅退院ができるように支援する病棟と考えていただければと思います。さらにここには専門の相談員や、理学療法士をおく予定です。患者の皆さんには少しでも早い回復と、自宅への退院ができるように支援していくつもりです。

高齢化社会においても新発田病院が、地域の中核病院として存続できるように今後も努力をしてまいります。皆様の御協力をお願いいたします。

当院の地域連携センターの 現状とこれから

地域連携センター長 清野 康夫



今年から新発田病院地域連携センター長に就任いたしました清野と申します。どうぞよろしくお願
いいたします。今回は地域連携センターから見た新発田病院の最近の状況をお知らせしたいと思います。

全国的にはいわゆる2025年問題を踏まえて、在宅医療を重視した医療体制を構築するための努力が、
官民あげて進められています。

当院でも11月から地域包括ケア病棟を開設することとなり、それに向けた診療体制の大幅な変更が
行われました。多少の混乱はありましたが、8月から3ヶ月間の準備期間を経て、概ね予定通り経過
しております。この地域包括ケアが十分機能するためには、病院と地域との調整役である地域連携セ
ンターの役割が益々重要になっていきます。ケアマネージャーや介護スタッフ、行政等との橋渡し役
という仕事だけではなく、長らく急性期病院としての役割を担って働いてきた病院スタッフに対して
は、もっと介護や在宅医療に対する理解を深めてもらうよう積極的に働きかけていきたいと考えてお
ります。

しかし、急性期病院としての性格上、入院中の方全員が在宅にスムーズに移行できるわけではあり
ません。そのためには転院先の医療機関を探し出したりといった、それぞれの状態に合わせた退院調
整という仕事も重要となります。これらの仕事は従来から行われていましたが、今後も引き続き担っ
ていくことになります。

また、2年前の外来紹介制拡大以降、地域の皆様には大変ご迷惑をお
かけしておりますが、直近の3ヶ月では紹介率が80%台、逆紹介率は
50%台を維持しております。この様に地域の医療機関との連携で高い水
準が達成できていることは、ひとえに皆様のご協力のおかげと感謝して
おります。

これからも当センターでは、地域の医療機関や介護施設を通じた顔の
見える人間関係作りに尽力していきたいと考えておりますので、今後と
もご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



インフルエンザについて

○か×でお答えください。

インフルエンザがもうすぐ流行り出す時期になってきました。
インフルエンザ予防として正しいものはどれでしょう。

1. マスクをすると感染予防になる
3. 手洗いをすると感染予防になる
3. インフルエンザワクチンは打つと直ぐに予防効果がある。

回答は4ページにあります。



冬のスキンケア 乾燥対策の工夫！

皮膚排泄ケア認定看護師 佐藤 奈津子

「冬になるとかゆい！」これは、「皮膚が乾燥し、表面のバリア機能が低下している」ということです。皮膚表面は皮脂膜で被われていて、外界にいる細菌などの侵入を防ぐとともに体内の水分が逃げないように保湿する「バリア機能」があります。

皮膚の乾燥は、外気の湿度が30%以下になると起こりやすくなるといわれています。

雪国なのに乾燥？それは、エアコンやファンヒーターなど暖房器具の使用、長風呂や熱いお湯の使用、キッチンや洗面所でも頻繁にお湯を使うことで皮脂や水分が失われて皮膚が乾燥しやすくなるのです。

また、無意識に掻くことで、爪による刺激が皮膚に炎症を起こす原因になります。

乾燥⇒かゆい⇒掻く⇒さらに乾燥⇒もっとかゆいという悪循環で皮膚のバリア機能はさらに低下してしまいます。

まず、「掻かない」「乾燥させない」こと。普段の生活で予防できること日頃のスキンケアを心がけてください。



乾燥対策「スキンケアの工夫」

①室内湿度の調整

肌のためには、60%位が適度です。湿度が低くなったら加湿器の併用や洗濯物を干すことも効果があります。オイルヒーターにすることもいいです。

②入浴の方法

一般石鹸で構いませんがナイロンタオルでゴシゴシ洗いをせず、よく泡立ててやさしく洗ってください。また、保湿成分配合の入浴剤使用もおすすめします。入浴後は肌に湿り気があるうちにローションでケアすると良いです。

③市販の保湿剤の使い分け

薬局にはさまざまな保湿剤成分の入った医薬品、医薬部外品、化粧品が並んでいます。皮膚の水分を補う水溶性の成分や水分の蒸散させない油溶性の成分で潤いを保つものがあります。薬局の薬剤師の先生に症状を説明し、選んでもらっても良いと思います。

④とにかく保湿

手はどこでも洗うので洗面台やキッチンに常備して外出時には靴に入れて持ち歩くことをお勧めします。

⑤肌に触れるものは、木綿やシルクがおすすめ

保湿剤をぬって手袋や靴下を着けると、浸透が良くなります。
爪は短く切りましょう。

※症状が進行してひどい場合は、早めに医師に相談してください。

皮膚と心に
潤いを





投書箱から

《患者さんの声1》

通院に際し大変不便を感じます。正面玄関に向かう車が混雑し、駅前の道路まで渋滞しています。周辺の公園を駐車スペースとし駐車場を拡張してください。

《回答1》

当院周辺の緑地帯は新発田市が管理する公園であり、災害時には市民の避難場所としても指定されていることから、病院の駐車場とすることはできません。駐車場の不足については検討しておりますが、直ちに解消することは困難な状況です。ご迷惑をおかけしていますが、ご理解をお願いします。

《患者さんの声2》

看護師さんの説明に不足を感じます。「〇〇に行ってください。」で終わるのではなく、「〇〇なので、〇〇したら〇〇に行ってください。」と流れを教えてくださいたいと思います。納得して行動できる説明をお願いします。

《回答2》

ご指摘ありがとうございます。相手の状況を確認しながらわかりやすい説明ができるよう、スタッフ一同鍛錬していきます。

《患者さんの声3》

入院した者ですが、1階の医事課まで行くことが困難なのに、入院の説明もないし、書類も持ってこないのは対応が悪いと思います。病棟の看護師さんと連携し、患者の立場を考えて対応してほしいと思います。

《回答3》

この度はご不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。1階窓口に来られての入院手続きが困難な場合は、医事職員がお伺いさせていただいておりますので、ご遠慮なく病棟の看護師にお声掛けください。

患者さんの権利

- 患者さんならびにご家族は、患者さんの病状、医療の内容につき十分な説明を受けることができます。そのうえで患者さんは、自らの希望する最適な治療を選択する事ができます。
- 患者さんは、プライバシーを守られ、個人として尊ばれる権利があります。国籍、人種、信条、社会的身分、経済的状態などによる差別を受ける事はありません。
- 患者さんは、安全で快適な療養環境の提供を受けることができます。また患者さんならびにご家族は、自らの希望・意見を述べる事ができ、それを尊重される権利があります。

ミニクイズ ～回答と説明～

1. ○ 2. ○ 3. ×

インフルエンザウィルスは飛沫感染と接触感染の2種類があります。正しくマスクを装着することと、こまめな手洗いを行うことで感染を予防することができます。インフルエンザワクチンは打ってから抗体ができるまでに2週間ほどかかります。ワクチンを効果的にするためには早めの予防接種が大切です。



編集後記

今回は地域連携センターと11月に開設されました地域包括ケア病棟について特集いたしました。入院後の退院に向けた支援体制が少しイメージできたでしょうか。もうすぐ冬将軍がやってきます。お体に気を付けて。

《編集委員》

清野 康夫	三井田 博	浅野 堅策	保坂 裕紀	齋藤 操	菊池 美紀
五十嵐啓子	渡辺 和子	和田 恵梨	片岡 吉和	小見 正之	関原 隆